

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 83



R4.11.24

今月のキーワード

学習者用デジタル教科書

コミュニケーション・デイ

令和4年度、文部科学省より小学校・義務教育学校5、6年生及び中学校・義務教育学校後期課程生徒を対象として、外国語科学習者用デジタル教科書が提供されました。音声面の指導はもとより、毎時間の授業の中での学びを充実できるよう、活用の仕方について教科部会等で話題にしてください。

学習者用デジタル教科書の活用について

学習者デジタル教科書（英語）の提供に係る活用方法及び指導上の留意点等について（R4.3.29付文科省通知より抜粋）には、学習効果と留意点が記載されています。以下、一部抜粋し、ポイントをまとめましたので、確認してください。

<学習効果>

- 音声読み上げ機能を活用することで、個人のペースで学習を進めることができる。

音読の際など、個人のつまづきにあわせて、繰り返し聞いて練習することができますね。家庭学習にも使えそうです。



- 書き込み機能を活用することで、自分の考えを深めたり、児童生徒同士で考えなどを確認し合ったりすることができる。

今まで使っていたワークシートに替えてみてはいかがでしょうか。授業の準備時間の短縮にもつながります。



- 音声読み上げ機能や書き込み機能を複合的に活用することで、英語で話されていることを聞いて意味を分かろうとしたり、適切に表現しようとする主体的な学習が促進される。

<留意点>

- （1）互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を重視すること

「音声を聞いて問題の答えを記入し、正誤を確認するだけ」といった、コミュニケーションへの配慮が想定されない活動に偏らないよう指導することが大切です。

- （2）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて取り組むこと

「新出語彙を繰り返し聞いて、それを知識として覚えるだけ」といった受け身の学習に偏らないよう指導することが大切です。例えば、下記のリスニング問題を行う際に、子どもたちにどのような問い掛けをしましょうか。Listen and write the number. だけでは、（1）のように「音声を聞いて問題の答えを記入し、正誤を確認するだけ」の活動になってしまいます。

Let's Listen 1 どの人のことかな。□の中に番号を書こう。

リスニングで流れる音声 I can do magic. Who am I ?

Look at this man. What is he doing? He wears a hat. We can see three birds. Yes, it's a magic. Can you do magic? などと事前に問い掛けることで、英語でのやり取りができるだけでなく、実際のリスニング問題に出てくる単語 magic を予めインプットすることができます。

コミュニケーション・デイ（国分寺中）



11月21日（月）に国分寺中でコミュニケーション・デイを実施しました。3年生全生徒が修学旅行の際に作成したオリジナル旅行記をもとに英語でプレゼンテーションを行いました。また、その場でALTからの質問にも即興で答えるなど、活気ある活動が展開されました。

国分寺中学校での交流

○3年生の活動（2～6時間目） 3～4人グループにALTが一人ずつ入り、交流活動を実施

生徒が一人1冊
作成したオリジナル
の修学旅行記



ローテーションで3回、生徒たちは、自分のおすすめの場所や食べ物などについて、ALTへの質問なども入れながらプレゼンテーションを行いました。また、振り返りに活用できるよう、3回目はタブレットに自分たちのパフォーマンスを録画していました。



1時間の最後には、互いのパフォーマンスのよさを共有するために、数人の生徒に全員の前で発表をしてもらいました。ALTからの質問にも即興で答え、コミュニケーションを図ることの楽しさをクラス全体で実感できたように感じました。

★生徒の発表した英文（一例）

Have you ever been to Kyoto and Nara? We'll introduce our trip. Look at this page. I recommend Horyuji-temple. It was built by Shotoku Taishi. It's the oldest temple in Japan. It's so beautiful, isn't it? You can buy a goshuin-stmap there. This is the five-storied pagoda. It's very powerful. If you have time, please go there.

○1, 2年生の交流 図書室や特別教室を利用し、昼休みは1年生、2年生の生徒と交流



昼休みには、1、2年生の生徒たちが4つの特別教室に分かれて集まり、ALTとのコミュニケーションを楽しみました。英語と笑顔がたくさんあふれる時間となりました。

修学旅行で行ったおすすめの場所を紹介することを通して、ALTからは「京都や奈良に行きたくなった」との感想があり、生徒たちは「伝える目的」を達成することができました。今回の活動を通して、改めて学習指導要領で求められている「コミュニケーションの目的や場面、状況」に応じた活動を設定することの大切さを実感しました。

文責 稲葉 亜希恵

